

## SSL3.0の脆弱性対策について（修正版）

※2015年4月24日 Google Chrome ご利用時の対策方法記載内容を修正いたしました。

インターネット通信で使用する暗号化方式「SSL3.0」において脆弱性が発見されました。本システムでSSL3.0を使用した通信を行った場合、利用者番号やパスワードなどの暗号化されている通信内容が漏洩する可能性があります。そのため、本システムでは、通信の安全性を確保するために、2015年4月22日よりSSL3.0での通信を無効化させていただきます。

**本対策により、大半のブラウザ（インターネット閲覧ソフト）ではそのままご利用できますが、TLS 利用設定を有効にしていない場合、システムへ接続できない場合がございます。その際は、大変お手数をおかけいたしますが、お使いのブラウザから「TLS」利用設定を有効にしてご利用ください。**

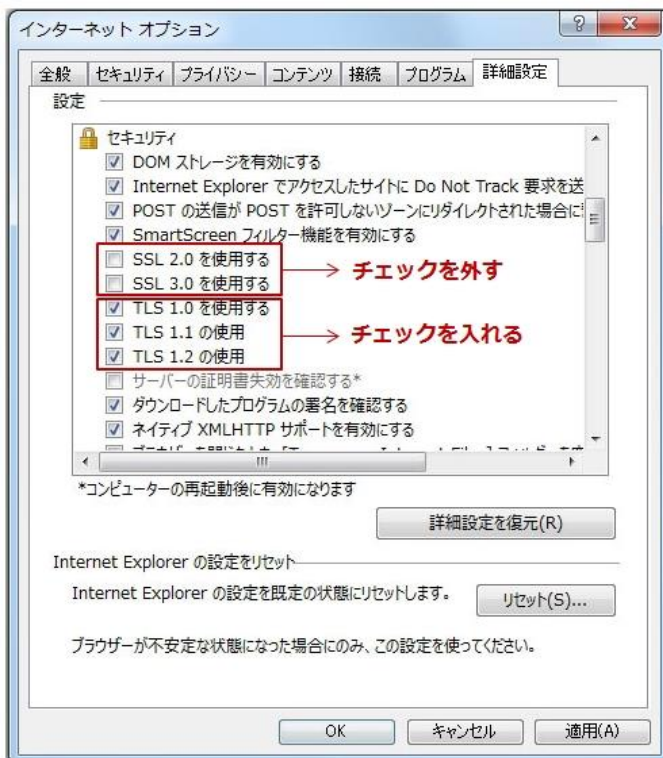
参考までに、「Internet Explorer」、および「Google Chrome」での設定方法について、下記のとおりお知らせします。必要に応じてお試しください。よろしくお願いいたします。

※旧機種の携帯電話などでは、TLS を利用できない端末をお使いの場合はシステムがご利用いただけません。脆弱性対策のため必要な措置となります。何卒ご了承ください。

※ブラウザの設定に関する個別のお問合せにはお答えできません。

### <Internet Explorer をご利用の場合>

1. Internet Explorer の [ツール] メニューの [インターネットオプション] をクリック。
2. 「詳細設定」タブをクリック。
3. セキュリティ項目にある  
「SSL2.0を使用する」「SSL3.0を使用する」にチェックを外す。  
「TLS1.0を使用する」「TLS1.1の使用」「TLS1.2の使用」にチェックを入れる。



4. 「適用」ボタンをクリック、「OK」ボタンをクリック。

5. Internet Explorer を再起動。

<Google Chrome をご利用の場合>

Google Chrome で、オーパスシステムをご利用いただくにあたり設定は必要ございません。

<Firefox をご利用の場合>

Firefox (バージョン 37 以降) では独自の対策がなされており、SSL3.0 に対応したシステムが利用できないことを確認しております。